

学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

- ・ 学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。
- ・ 検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

<小学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年7月15日～7月22日 (5日分)	3.00	7月22日	不検出 (<0.61)	不検出 (<0.55)

小学校A1 献立名

7月15日	ごはん 牛乳	なすのみそ汁、ひれカツソースかけ、さわやかサラダ
7月16日	ごはん 牛乳	すまし汁、豚肉みそ焼き、ひじきの炒め煮
7月17日	ごはん 牛乳	中華スープ、モーカフライソースかけ、ホイコーロー
7月21日	市産小麦食パン 牛乳	クリームスープ、ハンバーグケチャップソースかけ、海草サラダ
7月22日	ごはん 牛乳	酸辣湯(サンラータン)、肉だんご(2個)、中華サラダ

<中学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和8年7月15日～7月22日 (5日分)	3.30	7月22日	不検出 (<0.50)	不検出 (<0.60)

中学校A 献立名

7月15日	ごはん 牛乳	中華スープ、春巻、野菜のオイスターソース炒め
7月16日	ごはん 牛乳	じゃがいものみそ汁、肉だんご(3個)、野菜の塩昆布あえ
7月17日	市産小麦食パン 牛乳	卵スープ、チーズチキンのオープン焼き、ラタトゥイユ
7月21日	ごはん 牛乳	ワンタンスープ、いかメンチ、麻婆なす
7月22日	ごはん 牛乳	夏野菜のカレー、焼きかまチーズ、フルーツポンチ

- 1 検査結果の()内は検出下限値です。
- 2 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
- 3 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。
- 4 検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。
- 5 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメリーによる核種分析法です。
- 6 食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位 Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50